

## &lt;全体分析&gt;

試験時間 2科目 150分

## 解答形式

記述・論述

## 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

総設問数はほぼ同じであった(31→32)。問題文や図, グラフを読み取って判断する思考力を要する問題が増加した。

## 出題の特徴や昨年との変更点

昨年から大きな傾向の変化はなかったが, 例年にも増してグラフを読み取ったり選択したりする問題が目立った。

## その他トピックス

第1問では, 教科書本文には記載がない配座異性体が扱われた。なお, 配座異性体は2009年度の東大本試でも出題されている。

## &lt;大問分析&gt;

番号	出題形式	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
第1問	I 記述, 計算	有機	化学	シコニン類似化合物の構造決定	やや難
	II 記述, 選択 論述	有機	化学	配座異性体と脂環式化合物の安定性	やや難
第2問	I 記述, 論述 計算, 選択	理論, 無機	化学	ハロゲン化水素 (沸点, $\text{SiO}_2$ と $\text{HF}$ の反応, フッ化水素酸の凝固点降下, $\text{HF}$ の水溶液中での平衡)	標準
	II 記述, 論述 選択	理論, 無機	化学	Al, Ti の製錬, $\text{Al}(\text{OH})_3$ の沈殿量と pH の関係, 面心立方格子の最密充填面	標準
第3問	I 記述, 計算 選択	理論	化学	ハーバー・ボッシュ法の反応, 平衡移動の原理, 触媒の吸着作用	やや難
	II 記述, 計算 論述, 選択	理論	化学	$\text{Fe}(\text{OH})_3$ のコロイド溶液(コロイド粒子表面の電荷, コロイド粒子の半径と浸透圧の関係)	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## &lt;学習対策&gt;

数多くの演習問題を解いて, 思考力と計算力を養おう。目新しい題材が取り上げられることも多いので, 問題文の情報を読み取り, 知識や原理・法則と組み合わせて判断する力を養おう。さらに, 論述問題の対策も十分に積んでおこう。